

# 自然



嬭恋村は群馬県西北部、吾妻郡の西端一帯に位置し、白根・四阿・湯ノ丸・浅間山など2,000メートル級の山々の山麓に広がる高原で、どこまでも広く、自然の感動がいっぱいの村です。

春は桜が薄桃色の花を咲かせ、5月中旬頃になるとピンクのシャクナゲが咲き誇りました、6月中旬頃には、レンゲツツジが真っ赤に高原を彩ります。夏は広大なキャベツ畑が、緑一色のじゅうたんを大地に敷き詰めたようになります。秋は紅葉です。白樺、カラマツ、ナナカマド等々、赤、黄、褐色に、山肌が染まります。冬の嬭恋村は白銀色の世界。5つのスキー場と数々の温泉をお楽しみください。

Tsumagoi is located in the northwest of Gunma. It is a plateau village surrounded by mountains 2,000 meters high, such as Mt. Shirane, Mt. Yunomaru, Mt. Azumaya, and Mt. Asama. Flowers bloom from the spring to the autumn and the colored leaves are splendid. The hot springs, ski areas and scenery are truly superior.

朝霧躍動 浅間山



バラギ湖と四阿山



遠ざかる霧氷の森



四阿山頂



紅葉の白樺林 棧敷山林道周辺



浅間高原しゃくなげ園内のヤナギラン



そば畑

# 景観



たまだれの滝

# 日本ロマンチック街道



上田城の桜

吾妻広域圏や浅間山麓周辺市町村との防災協定及び観光連携、真田道や日本ロマンチック街道を中心とした広域連携及び歴史や文化を通じて地域間交流を促進し、上信自動車道促進や八ツ場ダム整備など当面する課題に取組み、交流人口の増大を目指します。

A variety of interchange and cooperation with neighborhood cities, towns and villages is mutually helpful for local development.



平成20年度のつまごい祭りでは、静岡県掛川市の民間リゾート施設『絆つま恋』と、仲よし調印を行い、今後の交流について検討が行われています。

## 地域発展のために 交流を活かします



千代田区との交流事業も20周年。更なる発展が期待されます。

孺恋村では、東京都千代田区と姉妹提携、アイダホ州コーダレイン市での中学生のホームステイ事業、地域の特性を活かした沖縄県座間味村、茨城県波崎町(神栖市)との交流、近隣市町村との広域連携など、自治体や住民の間で様々な形の交流がすすめられ、相互補完と交流人口増加を目指しています。

The village of Tsumagoi, famous for its cabbage, furthers its development by increasing exchange with other areas. We have a mountain village/city cooperation exchange program with Chiyoda Ward in Tokyo.



少年野球交流も20年経ちました。

千代田区との姉妹提携は、1988年10月25日に調印され、都市と山村との友好の絆を深め相互に発展することを目指しています。農業体験、キャンプ、スキーなどの自然体験、江戸天下祭りやイベントの協力、スポーツ・文化活動参加など交流事業も20年を経てさらに広がりを見せています。特に震災等大規模災害時における相互応援協定も約束しています。

神田小川町のスポーツ商店街で雪だるまフェア。



千代田区の小学生が農作業体験。

# 海を越えて地域を越えて 友達になろう

沖縄県座間味村との交流は、平成10年より始まり、冬には座間味村の中学生が来村しスキー教室や伝統芸能の披露、夏には本村の中学生が座間味村のきれいな海で、カヌー・ホエールウォッチングなど体験し、地域の特性を活かした交流が行われています。

We also have a sea village/mountain village exchange program with Zamami in Okinawa.



座間味村のきれいな海でチーズ！

アメリカのアイダホ州コーダレイン市での中学生のホームステイ事業は、グローバルな人材育成と、国際的視野養成を目的として始められ、2008年で20回目を迎え、多くの子どもたちが大きな感動と貴重な経験をしています。

Every year, we send junior high students to the town of Coeur d' Alene in America on a home stay program.



ホームステイで英語の実践を体験。



利根川の上流下流に位置する波崎町との交流は平成4年から始まり平成18年まで、小学生が約70名、毎年本村を訪れ、ますつかみやキャベツの収穫などを体験。イベント時には相互に特産品の販売提供など行ってきました。

## 孀恋高原キャベツは全国ブランド



キャベツは柔らかくて美味しい

孀恋キャベツは全国にその名を誇るブランド商品です。主に夏から秋にかけて出荷されています。出荷シーズンには、広いキャベツ畑の道を大型トラックが走り、農家の若者たちが声を交わす光景があちこちで見られます。孀恋にキャベツが本格的に導入されたのは昭和初期から。孀恋の気候がキャベツ栽培に適していたことと日本のほぼ中央に位置する地理的条件や交通網の整備などにより、全国に出荷されています。今では、日本の総出荷量の30%を占め、シーズンにおける首都圏に限っては80%近くが孀恋産となっています。



高原キャベツの収穫風景

"Tsumagoi Cabbage" has become a brand name recognized throughout Japan since the late 1950's. Local produce accounts for 30% of the cabbages shipped annually to greengrocers all over the country, and 80% of those shipped to Tokyo during the peak season.



新鮮で美味しい特産品

孀恋村の野菜はキャベツだけではありません。標高700~1400mの高冷地の気候を活かした新鮮でおいしい高原野菜が他にも数多く作られています。白菜やレタス、ジャガイモ、とうもろこし、ソバ、花インゲンなど評判の特産品ばかりです。

Other highland produce such as Chinese cabbage, lettuce, corn, flowers, and beans are also grown on farms in Tsumagoi.



新鮮な野菜が並ぶ直売所

浅間白根火山ルート沿いを走ると、新鮮野菜をはじめ、手作りの加工食品などが並べられた直売所があります。ここはドライブ途中に立ち寄る観光客と、地元の生産者たちとの楽しいやりとりが交わされる、ふれあいの場でもあります。



There are a lot of direct saleplaces along the road.The direct sale place is a placeof the touch of the producerand the tourist.



花インゲンの作付け状況

# 孀恋村の歴史と文化財



鎌原観音堂

やまとたける  
大和武尊の伝説にちなむ村名を持つ孀恋村。村の歴史は、天明3年の浅間山噴火にまつわる史実を抜きには語れません。県指定史跡となっている鎌原観音堂は、“土石なだれ”におそわれた鎌原村落で唯一残った建物です。当時、鎌原村の人口は570名、戸数100戸前後の村でした。集落の西側にある観音堂などに逃げのびて奇跡的に助かった人は93名のみ。当時、50段ほどあった石段は埋没し、現在は15段が出ています。昭和54年、石段の発掘調査により、観音堂までたどり着けずに“土石なだれ”にのみこまれた村人の姿が確認されました。(鎌原観音堂:昭和31年県指定史跡)



浅間やけ碑

生き残った93名は観音堂に集まり、隣村の名主(黒岩長左衛門・干川小兵衛)の援助により、村の再建の道を歩みます。33年後には先祖の供養碑を建立しました。また、大笹(現在は鬼押し出し園)には黒岩長左衛門が江戸狂歌の第一人者であった大田蜀山人きょうかに碑文を依頼した「浅間やけ碑」があります。(浅間やけ碑:昭和48年村指定史跡)



浅間山溶岩樹型

国指定特別天然記念物「浅間山溶岩樹型」は、天明3年8月4日の夕刻、発生した吾妻火砕流が森の大木の周囲を囲い、そのまま冷えて固まった後、大木が朽ちて古井戸状のくぼみとなったためずらしい樹型です。直径は50~150cm、深さは3~7mにもおよび、現在、500カ所確認されています。

In 1783, Mount Asama had a massive eruption, killing hundreds in the area around it. Ninety-three fled for higher grounds, finding refuge in the Kanbara Kannon temple. The memorial, Asamayake, is dedicated to those who lost their lives in this catastrophe.

Over 500 holes resembling wells exist in the lava flow area. Trees were entrenched by lava then decayed over the years, leaving these unique 3 to 7 meter holes scattered throughout the area



鳴尾の熊野神社大スギ

門員には、「鳴尾の熊野神社大スギ」がある。樹齢は 900 年。別名、「さかさ杉」とも呼ばれ、この地を訪れた弘法大師が立てた杖に根が生え、逆さに育ったものと伝えられている。(昭和 31 年県指定天然記念物)



円通殿

干俣の円通殿は  
えいしやう  
永正年間(1504頃)に常林寺の住職が土地の人たちに教育をおこなったと記録が残っている。(昭和 48 年村指定重要文化財)



中居重兵衛の墓

上野国吾妻郡中居村(現在群馬県嬭恋村三原)の出身の中居屋重兵衛は、横浜が開港した安政 6 年(1859)に横浜に進出し、黎明期の生糸貿易を担った貿易商です。その取引量は全輸出生糸の過半を超え、多くの外国商人が生糸を買い付けに訪れたと伝えられています。(昭和 31 年県指定史跡)



湯の丸レンゲツツジ群落

明治 37 年、東御市の牧野組合によって運営された湯の丸牧場は、昭和 31 年、国指定天然記念物「湯の丸レンゲツツジ群落」に指定された。

家畜は有毒なレンゲツツジを食べることがないためレンゲツツジの大群落が形成されたのです。



大笹関所跡

戦国時代、信州の真田と上州の沼田を結ぶ真田街道が整備された。大笹には後に、沼田藩主真田伊賀守によって寛文 2 年(1662 年)に設置された大笹関所がある。明治元年の廃関まで 200 年余り通行の取り締まりをした。(昭和 48 年村指定史跡)

Natural monuments, such as the belt of azaleas on Mt. Yunomaru and the grand cedar of the Naruo Kumano Shrine, are beautiful scenes of nature that hold special meaning to the people of Tsumagoi.

A replica of an old checkpoint for travelers can be seen in Oozasa.

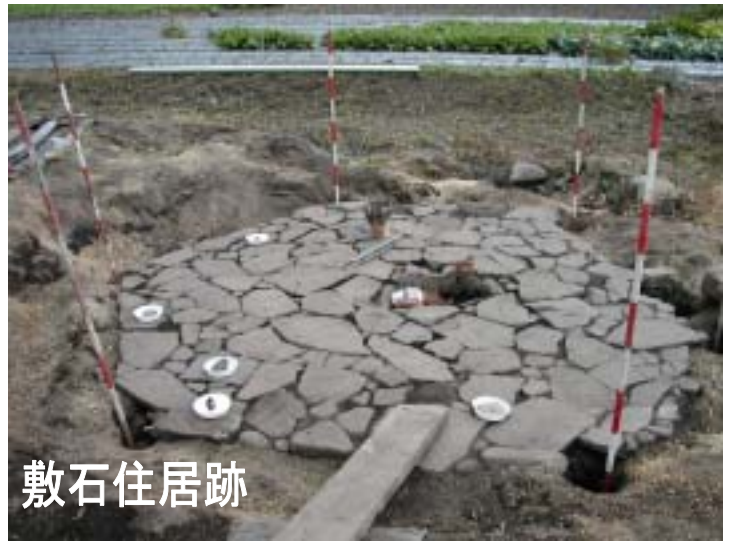


平成 5 年、今井東平遺跡発掘調査では、縄文時代の「黒色磨研注口土器」が一对で出土した。

また、県内最大規模の敷石住居跡や縄文時代中期の竪穴式住居、平安時代の住居などが発見されるなど、吾妻郡の歴史に新たな検証がなされました。



今井東平遺跡発掘調査



敷石住居跡

平成 5 年、発見された黒色磨研注口土器は、墓とみられる石を集めた構造物下の穴の底から発見されたもので、副葬品として埋められたものと思われる。発見された場所及び状態、文様や形などからして、縄文時代後期、今からおよそ 3,500 年前頃に作られたと推定される。(平成 9 年県指定重要文化財)

黒色磨研注口土器



平成 12 年度、第 8 次発掘調査において、非常に良好な状態で珍しい敷石住居跡を発見した。住居跡は、床面を“鉄平石”と言われる板状の安山岩の割岩でその表面をすき間なく丁寧に敷きつめたもので、その形は六角形をなし一辺の長さは平均 211 cm、角と角を対角線状に結んだ平均的な長さは 420 cm を測り極めて図形的なものであった。

床面の中央部分には囲炉裏があり、その中には土器が埋め置かれてあった。この敷石住居跡は今からおよそ 3500 年前の縄文時代後期初頭(加曾利 B 式)のものと思われた。

The excavation of the Imai East Flats discovered ruins of stone floors from early inhabitants' residences. Also found were 3,500 year old *kokushoku maken chuko-doki* earthenware which has been designated as an important cultural asset by Gunma Prefecture.

## 百番観音



## 百体観音めぐり

鹿沢薬湯縁起によると鹿沢温泉は、孝徳天皇の時、加澤に熱湯が湧き出し、ケガを治療する温泉として名高く多くの湯治客を集めていました。長野県東御市新張から嬭恋村鹿沢温泉に至る県道(約 12km)は「湯道」と呼ばれ、この道沿いに旅の安全を願う人たちの手で、“道しるべ”となる百体の観音像が奉納されました。百体観音は、新張の一番如意輪観音に始まって、1丁(約 109m)ごとに安置され、道行く人の“道しるべ”となりました。このうち、嬭恋村にある観音像は、県境の地蔵峠にある 82 番から百番観音までの 19 体となっている。百番観音は明治 2 年、鹿沢温泉の住人によって建立されている。

(昭和 48 年村指定史跡)





群馬県吾妻郡嬭恋村大字大前110番地

嬭恋村役場 総務課

TEL 0279-96-0511

FAX 0279-96-0516